

フード連合 マルハニチロユニオンの活動紹介

と山本自身の

2025年1月17日(金) 連合東京 女性委員会 第1回幹事会
マルハニチロユニオン 中央副執行委員長 山本 千尋



食



韓国料理

努力鶏

アイス全般
※氷菓含む
※シャーベット除く

パン全般
パン屋さんのやつ。

猫。



晴天の日の日陰

趣味

好み



ゴミ拾い
整理整頓

目が丸のキャラクター

ラッピング

料理



NETFLIX

YouTube

経歴

2013年:入社、関東支社 業務用食品一課に配属
2017年:支部執行委員(支部役員)
2018年:中央執行委員
2019年:中央書記次長
2020～2022年:中央書記長
2023年～:中央副執行委員長(途中育休取得)

偏愛マップ

検索

山本 千尋

AB型の左利き
京都生まれ鳥取育ち
3姉妹の長女
足のサイズは21cm

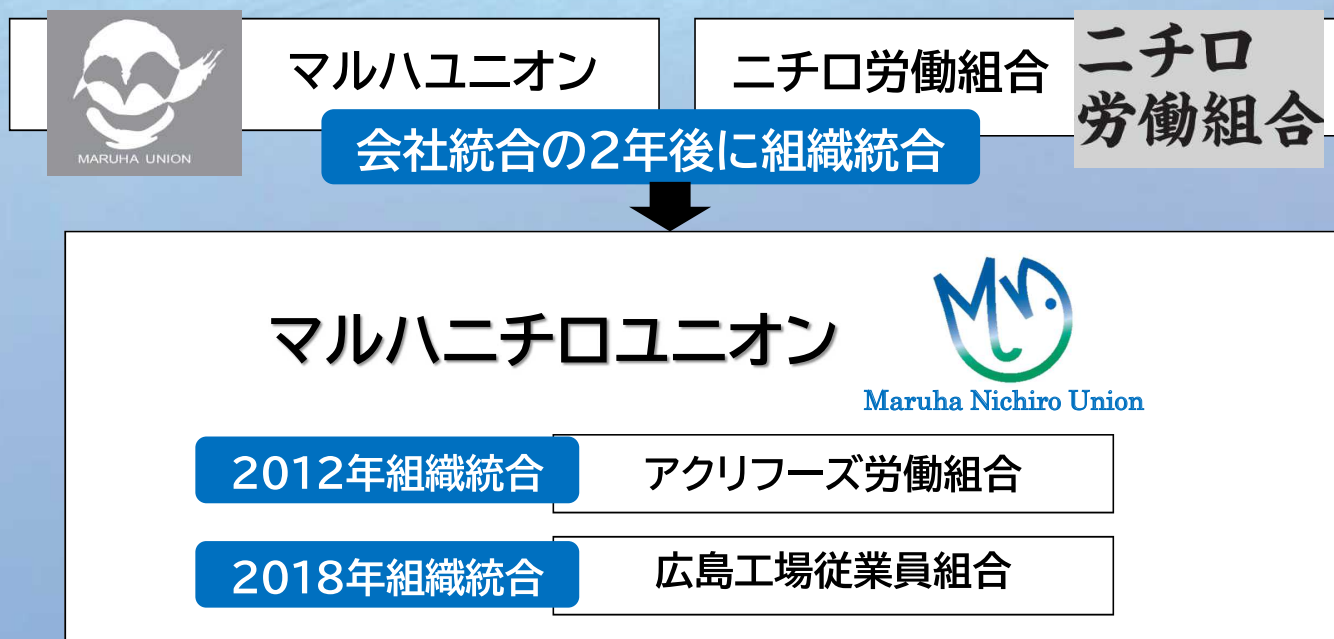
組合専従歴の方が長くなりました。



本日の流れ

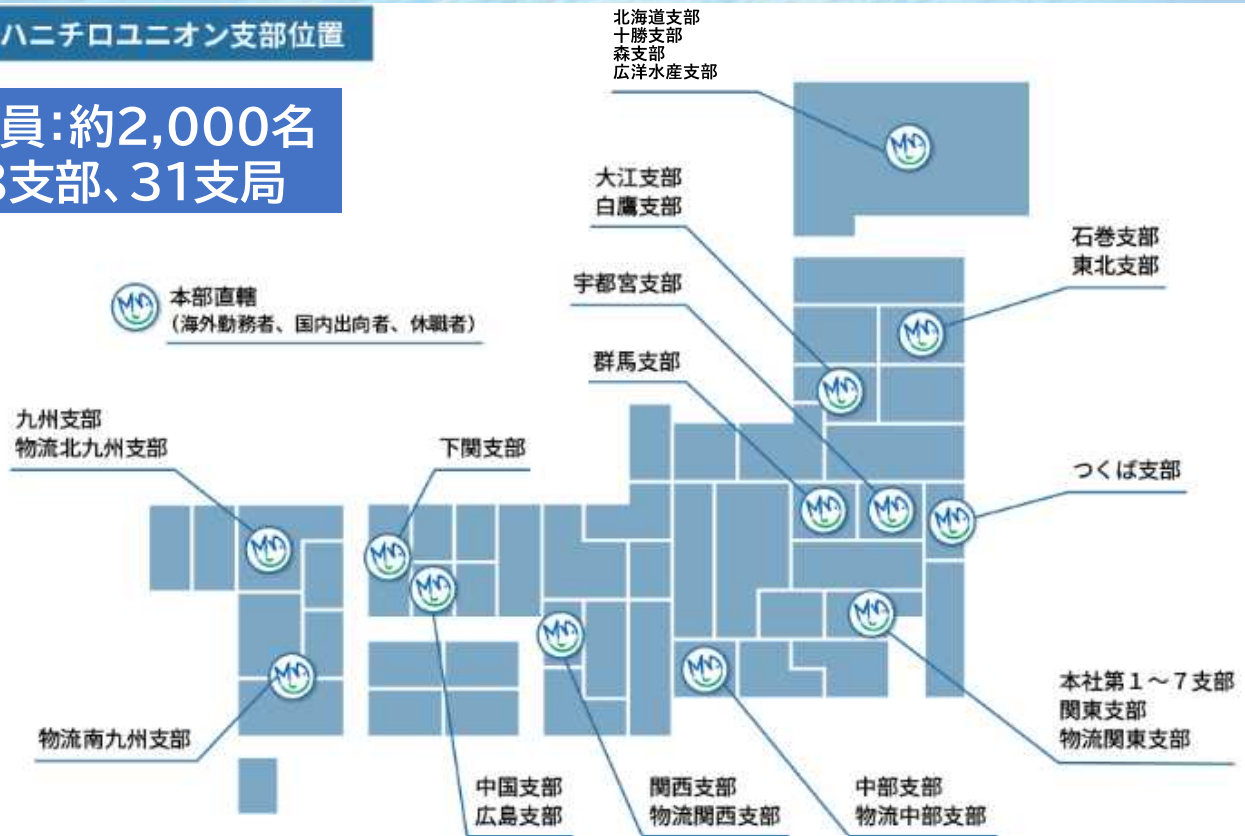
1. はじめに(会社、組織の紹介)
2. マルハニチロユニオンの活動
3. 組合活動を通じて気づいたこと(私の場合)

マルハニチロユニオンについて



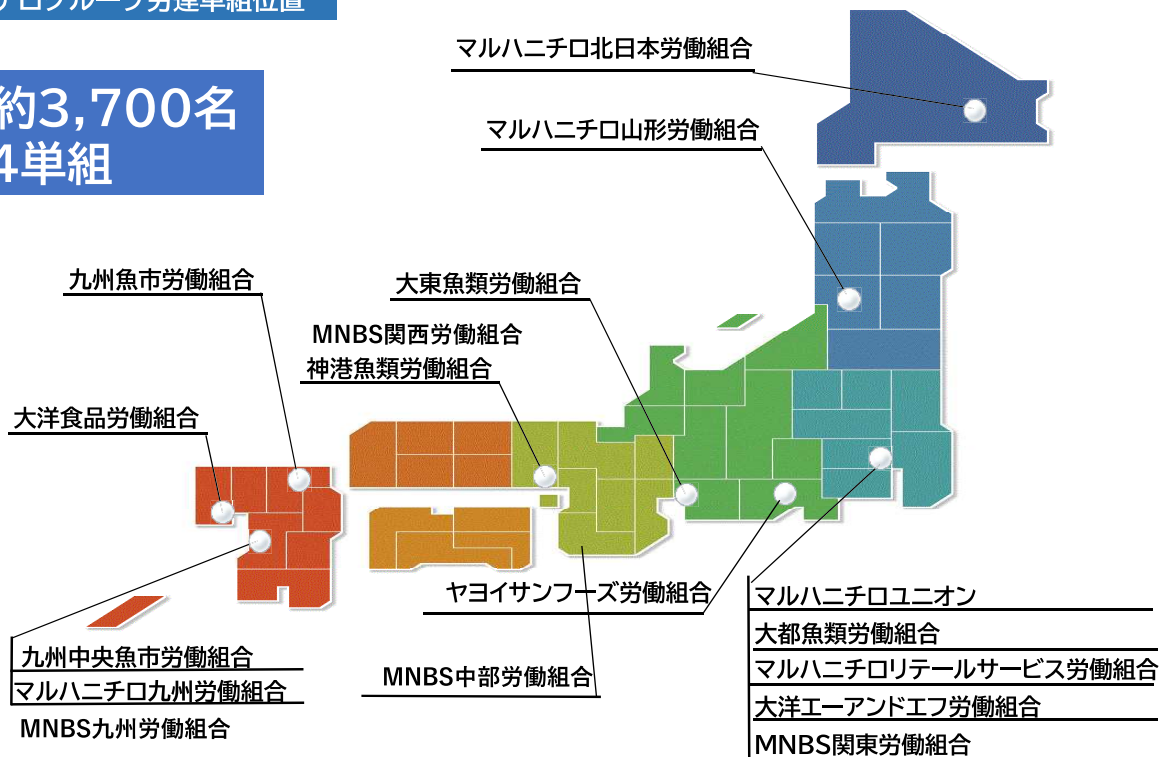
マルハニチロユニオン支部位置

組合員:約2,000名
28支部、31支局



マルハニチログループ労連単組位置

組合員:約3,700名
14単組



本日の流れ

1. はじめに(会社、組織の紹介)
2. マルハニチロユニオンの活動
3. 組合活動を通じて気づいたこと(私の場合)

「組合員一人ひとりの成長」の歩を進め、仲間と助け合い
「組織の強化・拡大」、「会社との対話」の取り組みを充実
させ、より良い労働条件・労働環境の実現を目指します。

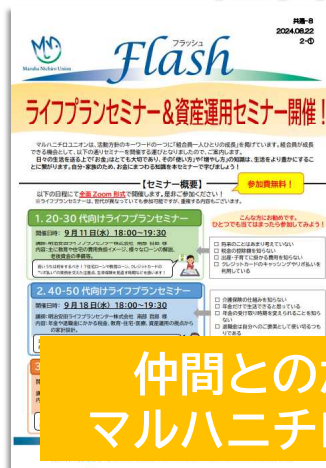
組織の強化・拡大

会社との対話

組合員一人ひとりの成長

組合員一人ひとりが成長し続け力強く自立しているからこそ
労働組合としてお互いを助け合い、全身する力を発揮できる

組合員一人ひとりの成長



本部用「組合員一人ひとりの成長」 支部の取り組み一覧

支部名	第1回オルグ時にヒアリングした取り組み内容
北海道支部	①. 組合員の意見をよく確認した上で、地区経営協議会等の対話を充実したものにしていく。（担当：高橋） ⇒今まで会社側は支社長のみでの対応となっていたが、より現場レベルでの実情を理解してもらうために、各部署のライン課長も出席してもらう。 ②. 懇親会を年に複数回企画・実施し、組合員同士の交流を深める。 （担当：三谷） ⇒数年ぶりの新入社員も配属されたので、特に力をいれて企画したい。支部イベントが目玉とはなるが、それ以外にも第一四半期に1回は組合員同士の交流の場を企画していく。 ③. 組合掲示板の活用。（担当：支部役員全員） ⇒昨年度設置した組合掲示板ではあるが、あまり活用できていない……。まずは、組合広報誌を中心に掲示板を活用して周知を行う。

仲間とのかかわりの中で成長することにより
マルハニチロユニオンの全ての活動の基盤を強化

組合員一人ひとりがマルハニチロユニオンの一員である
自覚と誇りを持って活動に参加することは
何よりもマルハニチロユニオンを強くする

組織の強化・拡大



本部用資料 24年度 組織拡大 支部別進捗表				注：事業所 KY MN支社本づくば MB	※各支部の進捗に基づき、各STEP区分しています。 STEP2：加入の意思を確認する／STEP1：総組合を実施する／STEP3：総組合に向けて準備する（未実施）			
STEP	対象者数	同意人数	状況	STEP	対象者数	同意人数	状況	備考
北海道	0	-	対象者なし。期中発生すれば対応。	1	本6	13	5	リクルール、メディア等、ずりか、フードサービスにて総組合を提案。スは口強ベースで大半が同意し、自立的な発展は無し。一方で、他支部「いつから活動？」を気にしている。近々、意思確認に進める予定。
0 森	5	-	対象者の定年退職が予定され5名。春闘に関心が高いので働きかけるチャンス。川島副支社長・川村書記長を中心に説明し、冬までの同意を得る目標。	1	本7	7	7	同意者のうち2名が退職予定。対象者を整理する。おそらく合計7名となる。
2 十勝 (地域役員)	8	3	支部として、まずは地域役員8名を定めた。3名（37.5%）まで同意。残り5名は1名に引き継がれている南支の状況。	2	関東	2	0	本人の意思は「理解はしたが、自分が入らない」で、固い状態。
0 石巻	71	-	7月のオルグ以降、取り組みを始めていない状況。賛成率で進めることを主軸に、特に声の大きい人々中心に人々からあたり、関心を持つ人を探っていく方針。	-	中部	0	-	対象者なし。期中発生すれば対応。10月にもしからず派遣→契約
2 大江	81	71	87.7%が同意し、全職の専業主婦でラストであるが、残り10名が非職に手強い。派遣の専業主婦が役員候補で丁寧に説明していく。職場退避のシフトあれば支部と連携して対応する。	2	関西	7	4	同意4名には再雇用者の重村さんも含む。また、群馬支社は組合加入に同意に至っていない3名のうち、2名は再雇用、1名はパートタイム雇用。

参加する仲間が増え、活動の輪が広がることで
マルハニチロユニオンの影響がおよぶ範囲を
広げていくことができる

労使対等の原則のもとに緊張感を持った健全な
労使関係の構築に努め、会社との対話に重点を置く

会社との対話



対話の相手が会社であっても、共に働く仲間であっても
互いの立場や視点の違いを尊重し、異なる意見を
受け止める力を強化して相互理解を深める努力を尽くす

M N U
みんなで、仲間のために、動き出せ！

MINNA-DE

NAKAMA-NO-TAMENI

UGOKI-DASE

みんな	組合員全員
仲間	同じ職場で働く未組織の方々も含めた職場の仲間全員
動き出せ！	組合活動に対して向き合い、自分のためだけでなく仲間の事を思い、現状よりも一歩でも前へ、全員で踏み出していこうという強い気持ち

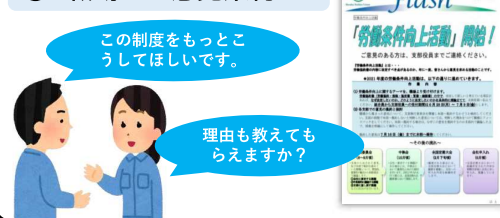
労働条件向上活動

制度を変える

自分たちの労働条件について改善が必要な点を組合員さんから募集し、その後支部⇒本部での議論を経て、最終的に全国定期大会で承認された内容を会社に申し入れる。(みんなで集めみんなで考えみんなで決める)

活動の進め方(流れ)▶

① 職場から意見集約



② 支部内で検討(支執会の開催)



③ 本部内で検討(専門員会⇒中執会)



④ 議案書にて提起⇒全員に説明⇒支部で決議⇒全国大会で決議



⑤ 会社に申入れ⇒協議(話し合い)



視点や意見が活かされた内容

制度を変える

《育児休職等に関する規程 改定》

育児休職を取得できる期間の延長(2015年に改定、その後2017年10月に法改正により最長2歳までに延長となった)

1歳6ヶ月に達する日まで⇒**満2歳に達する日まで**



子の誕生日によって
申込み機会が1回の人がある!



今後待機児童問題は
一層深刻になるのでは?

ちょっと
働きやすくなった!



視点や意見が活かされた内容

制度を変える

《育児休職・介護休職等に関する規程 改定》

子の看護休暇・短期介護休暇に使用できる保存休暇(年次有給休暇の失効分を積み立てたもの)の日数を増加

5日(2人以上の場合は10日)→**10日**(2人以上の場合は20日)



独自の支部イベント

環境を変える

- 全員参加のフォトコンテスト
- オンライン陶芸教室
- 自社商品の詰め合わせ

みんなの意見を反映させたイベントを立案しみんなで参加



職場単位での話し合い

地区協議会
地区懇談会
時短委員会



話し合いにはみんなの声が必要

上部団体の活動(フード連合)

女性中執の会

目的

多様化する社会に対応すべく、女性の視点・気付きから、フード連合全体の各種取り組みの推進に寄与する。



役割

フード連合の中央執行委員として、フード連合の取り組み全般に女性の意見や考えを提言することで、組織全体の活性化を図る。



取組内容

役割を認識する中で「取り組みテーマ」を設定し、テーマについて検討の上、その結果を提言としてまとめ、中央執行委員会にて報告する。



※2020年度第9回中央執行委員会で確認済みの、
「女性中執の会活動報告、及び次年度以降の方向性について」より

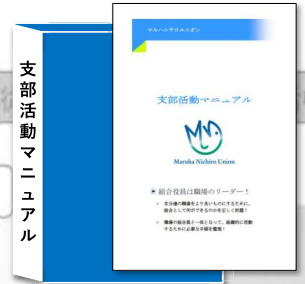
中央執行委員という立場で女性の視点・気づき、
意見や考えからフード連合の活性化につなげる

本日の流れ

1. はじめに
2. マルハニチロユニオンでの活動
3. 組合活動を通じて気づいたこと(私の場合)

専従になる前(支部役員時代)

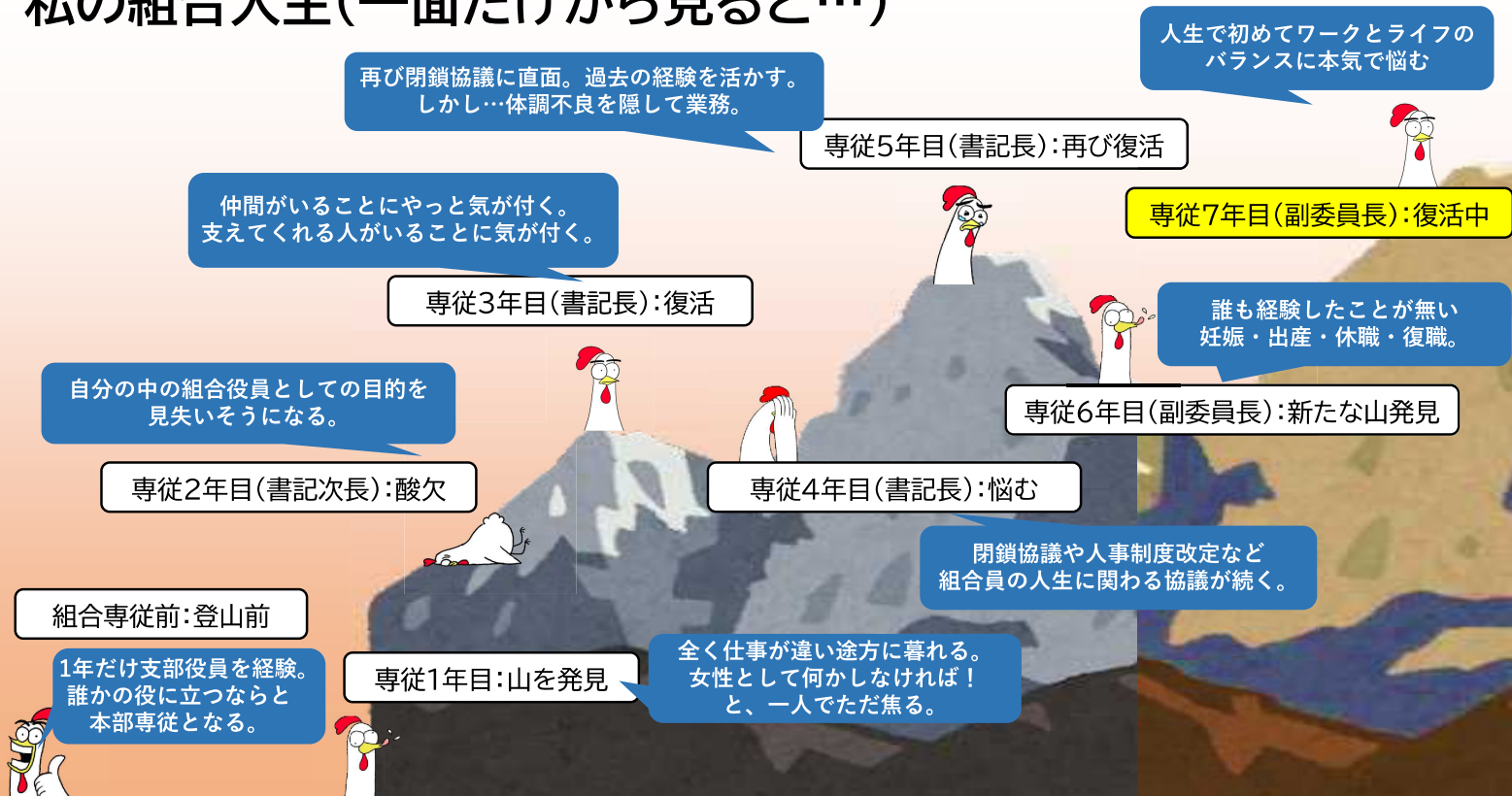
- 支部長から青いファイルを引き継ぐ
- 自分の働く条件や会社の事を理解できておらず
- 女性の組合員さんから質問を受けることが多くなった。(気がする)
- 自分は何をするべきか全く分かっていなかった。
- 本部の存在はあまり理解できていなかった。(怖い?)

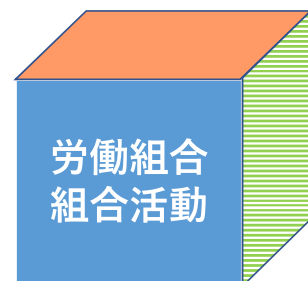
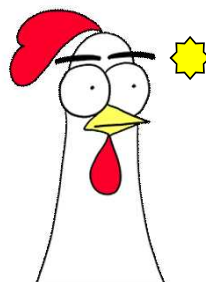
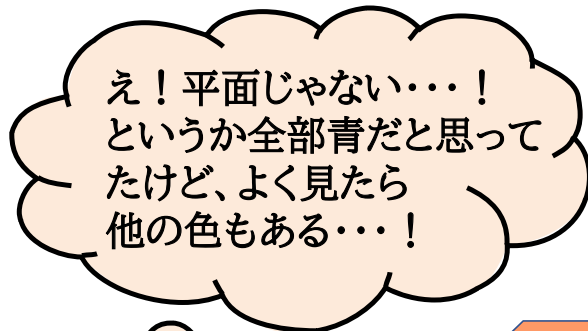
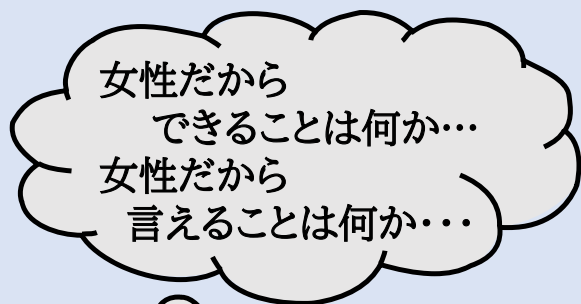


専従になるきっかけ

- 「誰かに必要とされているのなら、
誰かの役に役に立てるのならまずはやってみよう!」

私の組合人生(一面だけから見ると…)





私の組合人生(見方を変えてみると...)

「継続していること」にも大きな意味があることを感じた。
無理は長期的な目線でみると組織の為にならない。

実行することの大切さ、仲間と仲間の為に
活動することの大切さとおもしろさを学んだ。

専従3年目(書記長):復活

専従5年目(書記長):再び復活

経験しないとわからない事、気が
付かないことはたくさんある。

専従7年目(副委員長):復活中

思っているだけでは変わらない。
前例がないなら作ればよい!

世界中に仲間がいること知れた。
目的を持つことの大切さを学んだ。

専従2年目(書記次長):酸欠

専従6年目(副委員長):新たな山発見

専従4年目(書記長):悩む

労働組合という組織の役割を改めて学んだ。
無駄なことは何一つない。

組合専従前:登山前

変化のきっかけと
なった。

専従1年目:山を発見

日本中に自分と同じように
頑張っている仲間がいることを知った。

気が付いたことまとめ

- もしかしたら見えていない一面もあるかも、思い込んでいる部分もあるかもしれない。
- 働く中で思ったこと、感じたこと、そこには何一つ不要なものはない。だからこそ思っているだけではもったいない。やはり勝手に状況が良くなることはほとんどない。
- 共に取り組む仲間は絶対に必要。そのためにも「どうしたら出来るのか」を考えることが重要。

ご清聴ありがとうございました！